

自然再生事業 第一調節池内 昆虫類モニタリング調査

2007,8,25 作成
2017,9,28 改訂7

トンボ類ルートセンサス調査区域・ルートマップ

- 2010年5月より11月まで、基本的に毎月1回トンボ類に重点を置いたルートセンサスを行う。始点から終点まであらかじめ定めたルート(側溝を中心にした約5~6mの幅)に沿いつつ、各区域内をおよそ40分ずつ調査する。その際、トンボ類についてはチェック表を利用し、各区域ごとにおよその個体数も記録する。確認は目視・捕虫網を利用した捕獲等を用いるが、種の判定に迷いそうな個体は写真撮影または必要数をサンプル採集し、のちに精査する。
- その他、注目すべき昆虫類の出現があった場合には、適宜種類の判定・記録をするのが望ましい。人員的に余裕があれば、バッタ類についてはチェック表を利用した記録を行うが、個体数は必要ない。不明種などは写真を撮り、のちに精査する。必要と思われる場合、標本用として必要数をサンプル採集する。

- トンボ類のセンサスルート
- - - 調査ルート(北側・南側)

